

12月	モニターレポート	担当出張所	枚方出張所
担当区間	淀川中流左岸 大阪市守口市境界 ～ 枚方大橋 (左岸14.6KM～25.7KM)		
モニター実施日時	令和2年12月9日(水) 11:30時頃～14:30時頃 令和2年12月23日(水) 11:30時頃～13:00時頃		
天候	日 晴れ		日 晴れ
(見出し)			
担当区間は、全区間を一度、モニター実施することとします。			
また、3分割した区間毎の状況について別途日時を設定し、モニター実施させていただきます。			
モニター開始			
担当区間全域確認		9日実施 大阪市守口市境界 ～ 枚方大橋	
分割区間確認		23日実施 第3分割区間 淀川新橋上流 ～ 枚方大橋	
(内容)			
12/9 実施			
担当区間全域(大阪市守口市境界～枚方大橋)確認			
快晴の平日。最近の少雨の中、河川流量の変動確認も兼ね穏やかな気候の下、モニター活動を実施した。堤防敷は、管理刈込作業が行われており、快適な気候の下でゆったりとした活動が出来た。			
今回のモニターでは、今まで何かと感想を述べてきたが、いろんな取り組みが進められている現況を視認した。管理作業やコラボされた実施取り組み、沿川環境の改善が見込めるワンド設置工事現場等取り組みが進められている現況を視認した。これからも、河川という自然を相手とする行政であるが益々充実した展開をされるよう希望します。下の写真にも示しているが、少雨が続く中、河川流量の維持管理を一定水準に保つのは大変と思うが、人間生活・社会生活の基本である【水】の維持管理作業が持つ意義は大きいと思うので、表に出ない、謂わば陰で我々の生活を支える重要な業務であるが、貴事務所の益々のご活躍を期待します。			
当日の状況写真等			
			
河川状況は落ち着いていた 区間全域で草が刈られ風景が良い	川沿いの管理作業が実施済 見通しが確保され安心	この区間のみ通路が狭い 鳥飼大橋下流部の工事跡??	
			
太間淀川公園内の植え込み 民間とのコラボで良い取組みと思う	河川流量が少ないと思ったが 浚渫作業が進められていた	左：自転車対策表示 増設されたい 右：堤防通路上で電気マンホール発見	

(内容)

12月23日実施

淀川新橋上流（淀川距離票23KMP）～ 枚方大橋上流（担当区間終了部）

担当第三分割区間でモニタ活動。今回は、高水敷緊急通路沿い、流水付近敷地から現況確認を行った。天気も良く、また、管理事務所のご尽力で通路下草や猛けた草木などが綺麗に刈り取りがなされていたので、ゆったりとしてゆったりとした快適な環境が創出されており絶好のモニター活動日和であった。都会部の数少ない自然に触れる場としての【淀川沿川】を楽しむことが出来た。感謝する。

ところで、伊加賀野草地区内の草木伐採後の状況を現認した。その手法は地区内を部分的に伐採している現場であった。前のモニター時に猛けた野草部分があったが、計画的にそして部分的に伐採を実施され、全体の景観調整を図っておられると思うが、こういう手法もあるのかと感心した。ただ、野草地区中央部を貫通する通路（自転車道？）が中途で行き止まりになっており、先に行くことが出来ない部分があった。ちょっと残念な気がした。折角の通路ならば貫通して設置し、有効性を貫くべきと思う。

感じた事・思った事を写真とともにレポートします。

以下当日の状況写真



麗らかな天候 絶好の憩いの場  
河川の見通しも良く 快適な環境！



堤防上の通路沿い草刈り込み済  
(快適な環境創出に感謝)



部分的な草木伐採がされていた  
計画的環境保全の施策？



昨今の少雨の影響か流量減  
河川内に浅瀬も現出していた



ワンド工事中に遭遇  
3月完成後が楽しみ



伊加賀野草地区  
入口付近公園 管理が良い

(意見・感想・処置等)

今月のモニターでは、色々再発見が出来た。計画的な草木伐採工事、河川公園内の民間団体とのコラボした植え付け事業、河川の浚渫事業、自転車対策としての表示（カラーコーン使用）等管理施策の数々を視認した。それ以外にも多くの取り組みがなされているのであろうが、益々の充実した施策展開を期待するものである。また、使用形態についても、河川堤防上に電線構を発見した。堤防上の施設への電力提供の為に構設置と思うが、様々な活用がなされていることを改めて実感した。

河川堤防は当たり前の施設、構造物であると思ってきたが改めて認識を新たにしたところである。多くの機能を備えた河川環境、河川施設であるが、益々の管理事業の充実を祈念するものである。

(意見・感想・処置等)

12月のモニター報告有難うございました。

堤防通路上の電気マンホールは光ファイバーのものと思われます。

淀川水系全体の流況や河川管理施設の状況などを迅速に的確に把握し管理するため、光ファイバーによる総合防災情報ネットワークを構築しています。

淀川河川事務所と出張所間の情報伝達の高速化や、水位・水質、地震などの観測データ、樋門・排水機場等の設備情報、沿岸に配置したカメラ映像などの各種データをリアルタイムに収集し、河川空間や河川管理施設の監視、樋門等の遠隔操作、河川情報の地域住民への情報提供などに活用することで、河川の安全と地域防災に役立てています。

伊賀野草地区は、四季の野草や湿性植物を積極的に植栽したり、地形にゆるやかにな起伏をもたせたり、タマリなどを整備して施設広場地区の利用の影響を自然地区に及ぼさないようにする役目を持っています。

部分的な草木伐採については万一の火災の際の延焼を防ぐ目的ももっています。

それでは一月のレポートをお待ちしております。